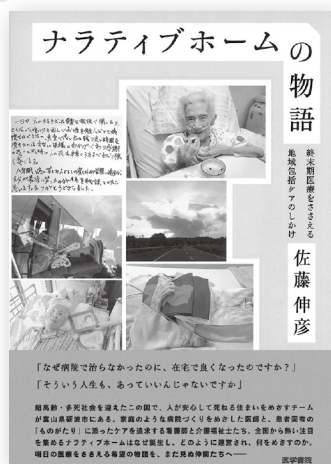




今月の特集関連本 ③



ナラティブホームの物語

終末期医療をささえる地域包括ケアのしかけ

佐藤伸彦＝著

本体 1,800 円＋税／A5・272 頁／医学書院／2015

超高齢・多死社会を迎えたこの国で、人が安心して死ぬる住まいをめざしたチームが富山県砺波市にある。家庭のような病院をめざした医師と、患者固有の物語に添ったケアを追求する看護師と介護福祉士たち。2010 年開設以来、全国から熱い注目を集めるナラティブホームはどのように誕生し、日々運営されているのか。その診療、看取り、エンゼルメイク、葬儀、アルバムづくりまで、その「しかけ」の詳細を伝える。